令和2年度第2回交野市総合教育会議 結果概要

日 時 令和2年12月2日(水)14:00~15:30

場 所 本庁本館3階 第一委員会室

出席者 黒田市長、

北田教育長、村橋教育長職務代理者、亥埜教育委員、伊丹教育委員、長谷川教育委員

事務局 大湾教育次長(兼教育総務室長)

教育総務室:西井室長代理

学校教育部:和久田部長、足立部長、今井次長

生涯学習推進部:竹田部長

企画財政部:近田部長、南次長、(政策企画課)松浦課長、吉田

傍聴者 1名

案 件 1. 魅力ある学校づくり事業について

- 2. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和3年度予算に係る意 見交換について
- 3. その他
- 資料 1. 第一中学校区魅力ある学校づくり事業について(資料1)
 - 2. 第一中学校区の施設一体型小中一貫校の開校準備について(資料2)
 - 3. 令和3年度教育委員会予算要求資料(主要事業)(資料3)

【開会】

黒田市長

皆さま、こんにちは。本日は令和2年度、第2回目の交野市総合教育会議の開催をお願いいたしましたところ、委員の皆様におかれましては、ご多用のところ、ご参集賜り誠にありがとうございます。

会議に先立ち、本日1名の傍聴希望がでており、「交野市総合教育会議における傍聴に関する取扱い要領第2条」に規定される定数内でございますので、傍聴いただいておりますことをご報告いたします。

また、尾﨑教育長職務代理者が任期満了に伴い退任されたことに伴い、今回から新たにご就任頂きました村橋教育長職務代理者にご出席いただいております。どうぞよろしくお願いします。

先月半ばに小中学校の修学旅行が全校無事に終了したと教育長より報告を受けました。修学旅行での感染防止対策の為に増額となる部分についての予算や、万が一感染者が発生した場合のキャンセル料金についての予算は、予め計上し、議会にご承認を頂いておりました。また、なにより保護者の方のご協力により成し得たものと思っています。現場の教職員の方々にもご苦労を頂きました。心より感謝申し上げます。

それでは、ただいまより、交野市総合教育会議を開催いたします。本日は、案件が2点ございます。 1点目は「魅力ある学校づくり事業について」、2点目は「地方教育行政の組織及び運営に関する 法律第29条に基づく令和3年度予算に係る意見交換について」でございます。

まず、本日、皆様のお手元に配布しております資料につきまして、担当より確認をさせていただき

ます。

事務局

配布資料の確認

【案件協議】

黒田市長

それでは、本日の案件1「魅力ある学校づくり事業について」を議題といたします。

本件につきましては、新しい学校づくりのため、これまでにも進捗状況等を共有し、意見交換を重ねながら、進めてきたものでございます。

先日開会しました市議会におきましては、施設一体型小中一貫校の工事期間中に子どもたちが過ごすこととなります「長宝寺小学校敷地における仮設校舎整備」などに関する債務負担行為を上程させていただいております。

いよいよ具体的な工事に着手する段階となっておりますので、改めて、進捗状況等をお互いに確認、共有し、事業実施や今後の課題等への対応を適切に、そして真摯に進めていきたいと考えておりますので、本日も忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

それでは、資料に沿って担当より説明いたします。

事務局

「資料1 第一中学校区魅力ある学校づくり事業について」の説明

「資料2 第一中学校区の施設一体型小中一貫校の開校準備について」の説明

市長

前回は小中一貫教育についての進捗を確認頂き、そのなかで小学 1 年生から中学 3 年生までの 9 年間を成長過程に合わせると、4・3・2で区切るのが最もふさわしいのではないかという教育委員会の考えを確認させて頂きました。また、位置づけについても義務教育学校とするのが有効ではないかという考えを確認させて頂き、校舎づくりの進捗についても意見交換をさせて頂きました。

そういったことを踏まえ、本日はより具体的に校舎のイメージや開校準備委員会の進捗について 説明を頂きました。教育委員の皆様におかれては、教育委員会等で既にご議論頂いているところと は思いますが、本日は忌憚のないご意見を頂き、より良い学校づくりを進めていきたいと思います。

教育長

今年の3月に「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」を策定し、イメージ図を公表させて頂いたのですが、諸室の配置等について様々なご意見を頂きました。そういったご意見を踏まえ、市民や地域、教職員、子どもたちの意見を取り入れた基本設計の資料になっていると思っています。今後、多少の変化はあるかもしれませんが、様々な意見を取り入れた新しい学びが出来る学校になっていると感じました。

黒田市長

これは確定ではありませんが、様々なご意見を取り入れた校舎づくりになっているということで すね。他にございませんか。

伊丹委員

保護者や教職員など様々な方々の意見を取り入れて頂いていると思っています。小学1・2年生 は教室に直接入れるといったお話を伺い、こんな方法があるのだと感心いたしました。

また、保護者の方の意見として保健室が小学校、中学校と2つあったものが1つになるということに対して、教職員の話を聞くと、むしろ1つの方が良いという意見もあり、柔軟な対応ができるような配置にしていると聞いています。事細かに意見を取り入れて考えて頂いているのだと感じました。

黒田市長

今後も、より工夫と改善は必要とは思いますが、様々な工夫がされた校舎になっているのではないか、というご意見でした。他にございませんか。

村橋教育長職務代理者

これまで、いくつかプランを見せて頂いているなかで、より多用途に対応できる校舎設計だと感じています。これからの学校は子どもたちの学びがメインということに変わりはありませんが、より地域の方が使いやすいつくりにしていく必要があると感じています。避難所もそうですが、日々の生活の中で学校を使ってもらえるような要素が大事になってくるのではないかと思っています。

また、小学5年生から教科担任制になる場合の、変化にも対応できる柔軟なつくりになっている と感じました。

市長がおっしゃられるように、今後も様々な方の意見をふまえて改良はしていかなければなりませんが、プラン図を見せて頂くと非常に期待感のある設計だと感じています。

長谷川委員

新しい学校は地域の方々の最大の関心事であることには間違いないのですが、新しい学校が開校した後、その学校で行われる新しい事や良かった事が市全体に波及していくならば、今回の予算は新しい学校づくりの予算というだけでなく、市の教育の全体への投資と考えることもできると思っています。

亥埜委員

地域活動を行う者としては、地域の方が利用できる地域交流施設等があるということで、地域の方が学校に入り見守り活動をすることで、地域の方々と学校がつながりを持っていける施設になっていると思っています。

黒田市長

地域の方々にとっても開かれた学校という考え方に沿った学校づくりになっているのではないか

というご意見でした。有難うございました。

それでは、私の方から確認をさせて頂きます。前回、子どもたちの成長過程に合わせると4・3・2 制を取るのがより合理的な考え方であるということは理解致しました。今回の校舎のプラン図にもそれが反映されたフロア設計となっています。児童生徒数が 1,000 人を超える学校と言葉だけで見るとマンモス校のイメージで感じられる方もおられるようですが、それはフロア設計や安全対策で対応できるものと捉えています。

小学 1 年生と中学 3 年生ではフロアが異なるつくりになっていますから、接触する頻度は極めて 低い構造になっているように見受けられますが、そういう理解でよろしいですか。

事務局

はい。特別教室やグラウンドへの移動もございますが、接触の頻度は低いと考えています。

黒田市長

あとは密集する時間帯で考えますと、登校時になると思いますが、これに関してどのような配慮がなされているのでしょうか。

教育長

学校周囲に歩道を設置し安全面に配慮しています。それに加えて小学1・2年生は直接教室に入れるような設計で、昇降口で混雑しないような配慮をしています。階段も複数ありますので、物理的にも混雑を回避するようなつくりとなっています。

事務局

廊下の幅も現在の 2 倍くらいの幅を取っており、安全に通行できるように配慮した空間づくりを しています。

黒田市長

集中する時間帯においても出入口、導線等々含めてしっかりと配慮をしているということですね。 本日は開校準備にかかる進捗についても説明がございましたが、こちらに関してご意見等ござい ませんでしょうか。

教育長

現在、開校準備委員会で議論している中で、保護者の方の心配も含めて通学安全部会の取組みが 一番重要なポイントであると考えています。どのように保護者の方の不安を取り除くのかが課題と 感じています。

亥埜委員

通学路の安全については、こちら側が対策を講じても、スマートフォンのながら運転など、運転者のモラルの問題の部分もあります。しっかりと行政でも啓発を行っていただきたいと感じています。 信号をつけたからといっても、必ずしも安全ではありません。また、子どもたちにも交通ルールを守 るような教育をしっかりと行っていく必要があると思います。保護者、地域、学校、行政で協力して 子どもたちを守っていく必要があると感じています。

伊丹委員

保護者の立場から申し上げますと、例えば低学年ですと、予め通学路をたどって確認をしておきたいということがあると思いますので、通学路がどうなるのかという情報は早めに知りたいと思います。

また、現在、信号機設置の要望をされている部分については、行政としても安全確保のためにお力添えをいただければと思います。

長谷川委員

市全体として子どもたちの安全の為にここまで考えています、力を入れてますということが形と して見えればといいなと思います。

亥埜委員

小中一貫校の視察をした際に、校長先生のお話で、そういう危険な場所で横断歩道を渡れずにいる児童に対し、中学生が手を引いて渡っているのが、小中一貫校になって良かったことだというお話が印象的でした。

村橋教育長職務代理者

小中連携の時はあくまで交流でしたが、小中一貫ということは9年間が繋がるということで、大きな教育成果に繋がることが見込まれます。

心の面での成育でいうと、下の子や同学年の子を思いやる、上下のつながりをつくる、これは非常に大事なことだと思います。それを日々の生活のなかで実践できます。

また、保護者の方が不安に思っておられる登下校時の不安材料をどうしていくのかについては、 真剣に考えていかなければならないと思っています。

教育長

新校に対して様々なご配慮を頂いている中ではありますが、先ほど亥埜委員もおっしゃったように、通学時の安全は地域や保護者の方々のご協力を頂いていますが、今回通学路交通安全プログラムで要望を出したが、安全設備がつかなかった所や、地域の方が立てない場所も出てくると思います。様々な順序を踏んでも、どうしても安全確保が難しい場所は、人を配置するなども1つの方法として、検討の課題に上げられないかと思っています。

黒田市長

通学路の安全対策については、教育委員会だけでなく、市民の皆様の命の安全を守るのは我々も同じ立場であります。本日はそのことについて協議をする場ではありませんが、保護者の方が不安を抱かれている部分については、丁寧に説明を行い、かつ対策を講じるために、通学路安全推進会議を通じて、関係機関に対し対策について要望を行っているところです。

先ほど亥埜委員からもありましたとおり、設備があれば完全に守られるわけでもないので、最終的には人の目が必要となってくる場所も出てくると思いますが、なぜそこを対処しなければならないのか、ということは明確にすべきと思っています。

と申しますのは、市全域で見たときに、地域でしっかりと見守り活動をしていただいている校区 もありますので、一中校区で必要となる場合には、他の地域の方々にも必要な安全対策であるとい うことをご理解頂けるような説明が必要ではないかと感じているからです。

これについては、市長部局と教育委員会でしっかりと確認してまいりたいと思いますので、よろ しくお願いします。

他にございませんか。ないようですので、次の案件に移ります。

続きまして、本日の案件2「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく令和3年度予算に係る意見交換について」を議題といたします。

現在、教育委員会各部局において、令和3年度当初予算要求に向けた精査に取り組んでいるところです。

今後は、市長部局において予算案を作成のうえ、議会でご審議いただく流れですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、「地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。」とされています。

これによりまして、令和3年度当初予算案に関して教育委員の皆様からのご意見を頂戴したいと 考えております。

なお、現在、予算要求については教育委員会部局と財政部局との間で調整を進めている状況であり、ここで詳細に予算内容をご説明するのは時間的にも困難ですので、本会議では、教育委員会として、来年度の重点施策と考えているものを中心に、まず所管部局からその概要について説明をもらった後、委員皆様のご意見を頂戴したいと思います。

それでは、資料に沿って担当より説明いたします。

事務局(教育委員会)

「資料3 令和3年度教育委員会予算要求資料(主要事業)」の説明

市長

それでは、この件に関しまして、ご意見等ございましたらお願いします。

村橋教育長職務代理者

11月に星田小学校の5年生の体育の公開授業を見学させて頂きました。2つのチームに分かれて、一方はゲームを行い、一方はタブレットでゲームをしている様子を撮影し、終了後に映像を確認しながらお互いの評価を行っていました。指摘を受ける子どもの様子を見ていると、映像で説明されることで客観的に見ることができ、素直に受け入れていました。子どもたちは非常にタブレットを使いこなしている印象で、これも、いち早くタブレットを導入し、日々の授業の中で活用をしてい

るおかげだと思います。感謝申し上げます。

また、タブレットを活用して更なる授業展開を考えたときには、問題データベースやタブレットドリルは予習・復習など個々の力に合わせて進めていくことが出来ることが魅力です。子どもたちがタブレットを使いこなす様子を見て、更なる授業展開が望めると非常に強く感じました。

長谷川委員

指導課の「小・中学校学力充実支援事業」と「グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業」、特に「グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業」ですが、先ほどの説明のなかでもタブレットドリルの中に英検3級に対応した問題があるとのお話がありました。交野市では英検IBAを平成30年度から導入していますが、英検に関心のある子もない子も皆が受験します。テストでは今自分のレベルが何級なのかや、上の級に行くにはあと何点必要なのかも表示されます。そういった事も手伝って、子どもたちに英検は取るものだという意識が生まれてきています。英検は高校受験にも影響し、子どもたちにとって切っても切り離せないものとなってきています。このタブレットドリルで英検3級に対応できる能力がつくなら、わざわざ塾の英検コースに通わなくてもよくなるかもしれませんし、保護者にとっては非常に魅力的な話です。それも含めて、英語や英会話能力を育てる英語プレゼンテーション大会も、市全体でもっと大きなイベントにしていく必要を感じています。子どもたちにとっても保護者にとっても関心が高いものと感じています。

亥埜委員

一中校区の施設一体型小中一貫校では、いきいきランドのプールを使用するということですが、 保護者の方からはプール授業の時間が減ってしまう等のご意見を頂いています。ところが、現状で は寒すぎたり、暑すぎると授業ができないことが起こっています。そういったことを考えると、天候 の心配も無く、確実にプール授業が行えることは、メリットであると思っています。

伊丹委員

新校に係る費用の件ですが、多額の予算がかかる事業ではありますが、これから交野の未来を担う子どもたちへの投資というところもありますし、一中校区で培ったノウハウが他の校区にも広がっていき、交野全体の子どもたちにも影響をもたらすところもあります。以前、関東の方に視察に行かせて頂いて、小中一貫校を作ったことでまちづくりが進み、この学校に通いたいということで人口も増えたと伺いました。今回のことで交野全体がより発展していけるよう、良い学校づくりが出来れば良いなと思っています

教育長

今年度タブレットの導入にご配慮を頂き、年明けの小学1・2年生への導入で全ての学年で整備が完了します。活用が進む中、どうしても機械のトラブル等、急な不具合の対応をせざるを得ない場合があり、まなび未来課の未来の教育 I C T 環境整備推進事業では専門的な支援員の人的サポートを頂きながら、子どもたちの学びが進むように更にタブレットを活用していければと思っています。

市長

本日は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく意見交換の場ということで、 既に事務的なレベルでは財政当局と教育委員会とで調整を行っていただいているところですが、教 育委員会として次年度予算についてのお考えを本日お聞きしました。

村橋教育長職務代理者の子どもたちがタブレットを使いこなして授業をおこなっているというお話は非常に興味深いですし、可能性を十二分に感じさせられました。

そのなかで受験英語ではなく、コミュニケーションイングリッシュも有効性のあるものですし、 タブレットドリルで繰り返して演習することの有効性についても、本日は聞かせて頂きました。

タブレットに関しては次年度から9,000万円という通信料予算もかかってきますが、こういったことも市民の皆さんと共有しながら、教育の質を高めていきたいと思っています。

亥埜委員からは、不安の声があがっているプール授業については、年間を通して、より安全で安定して授業が受けられる環境になるというご意見も頂きました。そういったことも含めて、いきいきランドのプールはしっかりと維持補修をし、子どもたちの学びの場として活用してまいりたいと思います。

財政部局では精査等させて頂きますが、子どもたちの教育環境の充実に向けて取り組んでまいりたいと思います。

他にご意見はございませんか。

ご意見ないようですので、この案件につきましては以上とします。

それでは、その他として、何かございましたらお願いいたします。

無いようでしたら、すべての案件について終了いたしましたので、これをもちまして、本日の総合 教育会議を終了いたします。

皆さま、本日は誠にありがとうございました。

以上

本議事録は発言の要点をまとめているものであり、発言全てを記載したものではありません。